

令和7年国勢調査有識者会議の開催について

令和3年11月22日
最終改正 令和5年7月20日
総務省統計局
統計調査部国勢統計課

1 目的

令和7年国勢調査の企画に関する事項、調査環境、調査の広報など、国勢調査に関する様々な課題について、有識者や関係者と検討を進めるため、「令和7年国勢調査有識者会議」（以下「会議」という。）を開催する。

2 検討課題

- (1) 令和7年国勢調査の試験調査の企画及び結果の検証
- (2) 令和7年国勢調査の調査方法等の企画
- (3) 国民及び関係団体の理解・協力の確保方策
- (4) その他

3 構成員

- (1) 会議の構成員、顧問及びオブザーバーは、別紙のとおりとする。
- (2) 必要に応じ、審議協力者として、国勢統計課長が指名する構成員以外の者の参加を求めることができる。

4 開催

会議は、令和3年から令和8年までの間に年数回程度開催する。
また、必要に応じ、ワーキンググループを置くことができる。

5 庶務

- (1) 会議の庶務は、総務省統計局統計調査部国勢統計課において処理する。
- (2) 会議の配布資料は、会議終了後ホームページで公表するとともに、議事概要は事務局において取りまとめ、速やかにホームページ上で公表する。

(別紙)

令和7年国勢調査有識者会議 構成員等

《構成員》

會 田 雅 人	滋賀大学データサイエンス教育研究センター特任教授
天 野 馨南子	株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部人口動態シニアリサーチャー
加 藤 久 和	明治大学政治経済学部教授
玄 田 有 史	東京大学社会科学研究所長
梶 原 崇 幹	日本放送協会解説委員
佐 藤 香	東京大学社会科学研究所教授
菅 幹 雄	法政大学経済学部教授
津 谷 典 子	慶應義塾大学教授
萩 原 雅 之	トランスコスモス・アナリティクス株式会社取締役フェロー、マクロミル総合研究所所長
◎ 廣 松 毅	東京大学名誉教授 情報セキュリティ大学院大学名誉教授

《顧問》

堀 部 政 男 一橋大学名誉教授

《オブザーバー》

東京都総務局統計部人口統計課長
浜松市総務部文書行政課長
大阪市計画調整局企画振興部統計調査担当課長

《総務省統計局》

統計調査部長
調査企画課長
国勢統計課長
国勢統計課環境整備企画官
国勢統計課調査官

(敬称略・◎は座長)